



学校だより

教育は愛

令和5年9月29日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

校長 千葉 裕(ちば ひろし)

◆ 子どもたちの成長にワクワク！！

2学期に入り、子どもたちの学びにも目に見えた成長が表れてきました。

6年生の修学旅行でも、自主的、自律的な行動が随所に見られました！自信を持って、友達とともに学んでいる姿は、本太小学校の最高学年として、誇らしいほどでした。

また、3年生の社会科見学や2年生の図書館見学でも集中した学びが見られ、成長の足あとがしっかりと確認できました。

校内を巡っていても、廊下で感じる風が充実感に溢れています。この風が、各学級の「級風」であり、学校全体で感じられる最大公約数が「校風」となります。

心地よい「校風」を追い風として10月も本太小学校は着実に歩みを進めてまいります！保護者・地域の皆様、変わらぬご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

◆ 九つほめて一つ叱る

「可愛くば、五つ数えて三つほめ、二つ叱って良き人となせ」という二宮尊徳の名言は有名です。子どもを良き人とするためには、「ほめる>叱る」というバランスが重要という教訓だと言われています。一方で、教育学者の森信三氏は「人は説教によって育つものではないということへの根本認識を持つこと」そして、「人をほめるということは、土壌に水をやり、肥料をおくような仕事」と説き、「九つほめて一つ叱れ これでもまだ、ほめ方が足りない」という教訓を遺されています。さらに、「子どもの教育には絶大な忍耐力が必要」と付け加えられています。忍耐には、物事を持続的にやり遂げること、不平不満を言葉や表情、行動に表さないで、心の中で納消させるという二つの意味がある、と。・・・教育は愛と忍耐

◆ インフルエンザに要注意！

今夏の猛暑は、観測史上初めての記録だとか、世界的にも異常気象だとかいった報道がされていました。自然界の中でも、地球規模で大きな変化が起きる時代に入っているのかも知れません。

さて、この時期のインフルエンザの流行についても「異常なことです」と学校医さん方からお聞きしました。本校でも、すでに2学級で感染拡大防止の措置として「学級閉鎖」を実施いたしました。

2学級に共通していたのは、●感染の広がりや学級内だけ、●感染力が強く同時期に10名を超える欠席者、●主な症状は発熱というものでした。

新型コロナウイルスと並び、インフルエンザ等の感染症にも、保護者の皆様と共に十分に注意して、子どもたちの「実りの秋」を守っていきたいと考えます。

◆ 運動会に寄せる思い

「3ゼンと輝く！本太小学校大運動会！」

- ◎**全力** 本気で、一生懸命、全力で！
- ◎**前進** コロナで立ち止まらず前進を！
- ◎**全員** 児童・教職員・保護者・地域、全員！

渡邊体育主任の熱い思いが込められたコンセプトです。全力で実現させ、「愛と感動の運動会」にします！保護者・地域の皆様、ご協力を宜しくお願いいたします！

「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校！」～すべては、未来に生きる子どもたちの幸せのために～ ☆ 教育は愛 ☆